

会報 まつもと 55号



令和元年 10月21日 発行

(公財)長野県長寿社会開発センター 松本地区賛助会

松本市島立 1020 松本保健福祉事務所福祉課内

発行責任者 小岩井 定男 発行部数 800部

令和元年度 生涯スポーツ交流大会開催される (第25回)



令和初の生涯スポーツ交流大会(25回目)が、9月10日(火)信州スカイパーク運動公園にて開催された。

実行委員会の皆さんは前日まで天気予報を気にしながら準備をし、また当日は早朝より会場設営に携わって交流会の準備をした。当日は真夏日ではあったが天候に恵まれ大勢の参加者がスポーツを通じた交流を楽しんだ。

参加者は、主催者である長野県長寿社会開発センター松本支部・松本地区賛助会を始め松本

市高齢者クラブ・塩尻市友愛クラブ・安曇野市老人クラブ・シニア大学生など約180名の参加者で大いに盛り上がった。

(株)市民タイムス・松本信用金庫・(公社)長野県看護協会から後援していただいた。

大会長には青木厚松本市高齢者クラブ連合会長、副大会長には藤岡嘉安曇野市老人クラブ連合会長、荻上弘美塩尻市友愛クラブ連合会長・小岩井定男松本地区賛助会長がそれぞれ務め、大会実行委員長は荒田直松本地区賛助会副会長が務めた。そのほか多数の役員が委員を務め、大会を素晴らしいスポーツの交流会とした。



大勢の参加者で賑わった

開会式

開会式は佐藤陽子副実行委員長の司会で始まり、藤岡副大会長の開会あいさつ、青木大会長と小岩井副大会長のあいさつにつづき、競技委員長からの競技説明、実行委員会からの諸連絡ののち、三輪尚弘さん(ラジオ体操1級指導士)の指導による準備体操を実施して競技開始となった。

今年度は熱中症などの懸念から、参加者の安全を考慮して午前中にすべての競技を終了することとした。そのため開会式の後ペタンクとグラウンド・ゴルフの参加者は会場を移動して競技開始となった。



交流会のスナップ

ペタンク



鉄球を投てきして競技開始



接戦になるとミリ単位の距離を測定する

グラウンド・ゴルフ



ホールインワンも出て盛り上がった



青空の下 芝生の上で協議開始

マレットゴルフ



ジェット機の離着陸も見える眺望の良い会場



汗ばむ陽気の青空の下で各競技が開催された。ペタンク 18名、グラウンド・ゴルフ 35名、マレットゴルフ 120名の参加者の交流ができた。上位入賞者には松本信用金庫様からの協賛金による賞品が授与された。

信州 SHINSHU NENRINPIC

ねんりんピック

テーマ
北信濃から、
シニアこそ
しあわせ発信！

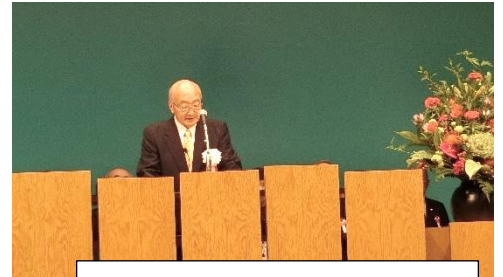
2019
令和元年

文化・芸術
交流大会
in 飯山
式典・交流イベント
2019 9/21(土)

2019 信州ねんりんピックが飯山市文化交流館「なちゅら」を中心に開催された。

式典・交流イベントと囲碁・将棋大会は9月21日(土) 高齢者作品展が9月20日(金)～22日(日)まで開催された。マレットゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンクなどのスポーツ交流大会は10月26日(土)長野運動公園総合運動場で開催され、松本地区賛助会からも参加する。

式典では「安曇野地域会」の竹澤とき子さんが長年の活動に対して県知事賞を受賞した。竹澤さんは、2011年の安曇野地域会発足時から昨年度までグループ長を務め、ボランティアなどの地域貢献活動、スポーツ交流会などの健康づくり、パソコンや料理教室などの学習会などに積極的に取り組み、グループをまとめ牽引してきたことが高く評価された。ほか3名が受賞した。



内山理事長の開会あいさつ



県知事賞の受賞式

また「26輝く会」の松本功さんはグループ活動として長寿社会開発センター理事長賞を受賞した。「ごより会II」の大月雪代



飯山地方の郷土芸能「五速多々神楽 翁舞い」が開演に先立って披露された。伝統衣装、音楽、舞も素晴らしかった。

さんはグループ長としての長年の活動に対して個人表彰を受けた。

高齢者作品展は隣接する飯山市公民館で開催され、日本画・洋画・彫刻・手工芸・書・陶芸など数多くの作品が展示された。松本地区賛助会員の作品も多数あった。交流イベントでは、三味線、南京玉すだれ、ハワイアンフラダンス、オカリナ演奏、シニア大学OBによるコーラスなどのステージ発表があった。



県知事賞の竹澤とき子さんと理事長賞の松本功さん

次ページへ続く

ねんりんピック続き

午後は基調講演として「輝きたいシニアライフ 私の場合」と題して講師の元フジテレビアナウンサー小林節子さんのお話があった。

パネルディスカッションでは地元飯山の人形作家の高橋まゆみさん、よらし・こらし 夢ひろば代表の眞篠淳子さん、北信州服部農園代表の服部秀人さん、内山二郎理事長が「シニアこそその幸せ・・・そのために」の演題のもと「自分にとっての幸せとは?」「幸せに生きるためには何が課題か?」などについてトークセッションした。



基調講演する小林節子さん

作品展 関係分

於：飯山市公民館



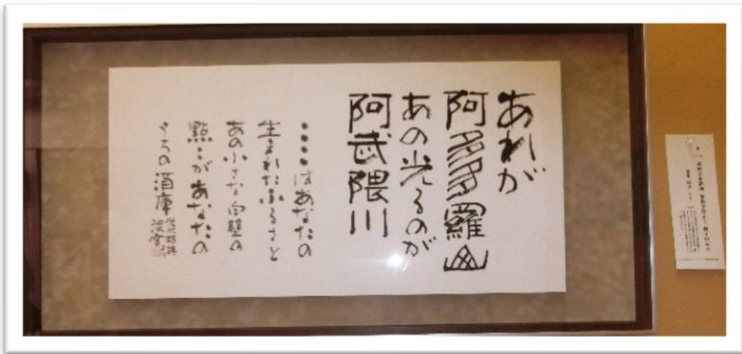
日本画 奨励賞 寺澤正吉さん 「白馬連山」



トートバッグ 販売は大盛況だった。
チャームシルク佐藤陽子さんほか



木彫 石毛良平さん 「年輪」



書 宮本祥江さん 智恵子抄より「樹下の二人」

陶芸 野畑義貴さん 花器「想い」



活動グループ紹介

1 世代交流会

グループ長 武重孔二

設立：平成16年3月15日（シニアリーダー養成講座第6期の卒業生、現在会員12名）

目的：地域社会への貢献と会員相互の親睦を図る。

活動内容：会員の知識や特技を生かしての物づくり。

身近にある材料を主に使って、高齢者や児童達とおもちゃ作りを楽しむ。

（平面キューブ・コマ各種・ストロートンボ・一輪ざし・風車各種・・・）

活動場所：松本・安曇野・塩尻・東筑の全域

幼稚園・保育園・児童館・小学校・公民館・地域の社協、施設等

私達会員にとってそれまでの経験・知識・技能を生かし、日本の将来を担う有望な児童と交流ができることは大変幸せです。そこで児童たちが自分の手と体で作品作りに触れ合い、感じ、想像力を表現しながら、作品を完成する姿を見ることができます。

活動は年間30回、対象者は800名にもおよびます。作品の事前準備は多岐にわたり、会員は熱い気持ちで一生懸命に取り組んでいます。その結果児童の小さな手や体が動く時、子供の心も動いていることを忘れません。

完成した作品に笑顔とありがとうの挨拶を貰い、会員一同感動と感謝でいっぱいです。

私たちは高齢化社会に生きる一員として、自覚を持ち、社会貢献活動を実践して、充実感、感謝の気持ちなど大切にして自らの生涯活動として積極的に地域社会に参加して行きます。



作品の一例



小学生からのお礼状

2 アルプスマレットクラブ

グループ長 小野松雄

平成06年 発足 老大17期マレットゴルフ23名

この頃はゲートボールが盛んでマレットゴルフはニュースポーツ

平成08年 改名 老大15期生入会申込に伴いアルプスマレットゴルフとする。

老大卒業生であれば誰でも入会可能に門戸を開く

平成13年 受賞 長野県長寿社会開発センター団体理事長賞

平成16年 式典 創設10周年、北原松本地方事務所福祉課長来賓祝辞

平成18年 受賞 百瀬グループ長、松本地区賛助会長功績で県知事賞

平成20年 位置 急速に普及し生涯スポーツの位置づけ、会員88名

平成21年 式典 創設15周年、現在のユニホーム全会員に配布

平成24年 退任 百瀬初代会長退任、名誉会長に就任、二代目、小野松雄

平成26年 式典 20周年、功労賞・永年在籍賞・役員退会生存者に感謝状

平成30年 交流 飯伊シニア大学35期マレットゴルフ同好会と飯田市で

令和元年 交流 6月5日第2回飯伊シニア大学35期生と松本市で

6面へつづく

5面よりつづき アルプスマレットクラブ

会の特徴

- 1. 全員が賛助会員
- 2. ユニホーム・名札着用
- 3. 競技前準備体操
- 4. 傷害保険加入
- 5. 新入会員懇談会実施
- 6. 信州ねんりんピック
大会選手派遣
- 7. 生涯スポーツ大会
- 8. 成績報道／信濃毎日
新聞・市民タイムス



松本地区法人賛助会員さまのご紹介

松本地区の法人賛助会員さまの紹介記事を前号に続いて掲載いたします。

法人賛助会員さまは、長野県長寿社会開発センターの趣旨に賛同し、センターの発展を支援していただける企業や関係団体の皆さまに法人賛助会員としてご協力いただいております。第3回目は「長野銀行」様と「松本信用金庫」様を紹介させていただきます。

1 「長野銀行」様の紹介・・・ホームページより

経営理念/当行のめざす銀行像



● 経営理念

「当行は、お客さまと株主の皆さまおよび従業員の幸福と繁栄のために全力を尽くします。」

● 当行のめざす銀行像

必要とされ選ばれる銀行～長野県のマザーバンク～

当行は、「お客さまに役立つために」、「よい組織をつくるために」という観点に基づき、当行が将来にわたり持続的に成長し存続するために、当行を取り囲む1.お客さま、2.株主、3.従業員、4.地域という4つのステークホルダーにとってのナンバーワンを目指してまいります。

「地元・長野県の人と産業に貢献する」

—ずっと変わることはない、私たちの特別な使命です。

長野銀行は、「当行は、お客さまと株主の皆さまおよび従業員の幸福と繁栄のために全力を尽くします。」という経営理念のもと、平成28年4月より、新たな中長期経営計画をスタートいたしました。

そのスローガンを「『めざす銀行像』への挑戦～3つの実践「シンカ」で2025年に向けた新たな地位を築く～」とし、めざす銀行像である「必要とされ選ばれる銀行 ～長野県のマザーバンク～」の実現に向けて、様々なステークホルダーの方々に対し、コミュニケーションを深め、強固な関係を構築する「深化」、真の価値を提供する「真価」、共に成長し高みをめざす「進化」、この3つのシンカを地道に継続し、地元に着目した取組みを展開することにより、長野銀行ブランドを向上させることとしております。



2 「松本信用金庫」様の紹介・・・ホームページより



お客さま本位の業務運営方針

松本信用金庫は、「地域社会の要請に応え、地域金融機関としての使命と責任を自覚し、常に地元と共に栄え、豊かな明るい街づくりに奉仕する」という基本理念のもと、地域社会と地域に暮らすお客さまの発展を使命としております。また、資産形成や資産運用にかかわる業務においては、「お客さまのより良い生活の追求」を行動理念として取り組んでまいりました。当金庫では、お客さまとの信頼をさらに深めることを目的とし、「お客さま本位の業務運営方針」を制定いたしましたのでお知らせいたします。



地域経済活性化・地域貢献活動

当金庫では、地域経済の持続的な発展に貢献するため、様々な事業を展開しております。

地域経済活性化事業

当金庫では、協同組織である信用金庫が本来持っている地域の様々な主体を結びつけて新たな価値を生み出す「つなぐ力」を発揮し、地域の諸機関と連携して各種事業を行い地域経済の持続的な発展に貢献するため、地域経済活性化プロジェクトを平成22年に立ち上げ、様々な事業を展開しております。

環境保護活動

国が進める「美しい森林づくり推進国民運動」の具体的な行動として、長野県が実施します「森林（もり）の里親促進事業」により、平成25年10月20日に松本市岡田財産区と「森林（もり）の里親契約書」を締結し、人が集う豊かな森林づくりを開始しました。平成25年より毎年100本以上の「紅葉」を植樹しています。



環境保護活動で活躍する松本信用金庫の皆さん

松本地区 法人賛助会員 様

- キッセイ薬品工業株式会社
- 株式会社 プラルト
- 松本倉庫株式会社
- 株式会社 長野銀行
- 公益社団法人 長野県看護協会
- 一般社団法人 長野県薬剤師会
- アズサイエンス株式会社
- 松本信用金庫
- 長野トンボ株式会社

以上 9社

法人会員様は、明るく、夢広がる、豊かな「人生 100 年時代」の実現のために（公財）長野県長寿社会開発センターの事業や活動をバックアップされています。

行事予告

1 マレットゴルフ交流会

日時 令和元年 10月24日(木) 10:00~12:00
 場所 信州スカイパーク林間コース
 集合 陸上競技場正面ゲート前
 時間 9:30
 担当 「老大27期マレットゴルフ同好会」
 会費 300円
 申込先 グループ長経由で小岩井寛 グループ長へ
 または佐藤陽子活動推進委員長へ
 締切 10月17日(木)



電話&Fax 0263-25-5493
 電話&Fax 0263-32-2519

2 ボウリング交流会

日時 令和元年 11月14日(木) 10:00~12:00
 場所 松本市梓川 ココレーン松本
 集合 9:45 現地集合
 担当 活動推進委員会
 会費 1,500円(ゲーム代 貸し靴代 賞品代)
 申込先 グループ長経由で佐藤陽子活動推進委員長へ
 締切 11月7日(木)



電話&FAX 0263-32-2519

3 賛助会中信地区懇談会(松本・大北・木曽)

日時 令和元年 11月22日(金) 10:00~
 場所 木曽合同庁舎
 担当 木曽地区賛助会
 内容 3地区賛助会の現状と課題、今後の進め方



4 料理教室 3

日時 令和元年 12月9日(月) 9:30~12:00
 場所 松本合同庁舎 2F 調理室
 担当 「ローレル」
 会費 800円(連絡なし欠席はキャンセル料いただきます)
 申込先 グループ長経由で小野松雄グループ長へ
 または佐藤陽子活動推進委員長へ
 持ち物 エプロン、三角巾(バンダナ) タオルなど
 締切 12月2日(月)



電話&FAX 0263-82-5356
 電話&FAX 0263-32-2519

5 令和元年度松本地域タウンミーティング

日時 令和元年 12月12日(木) 13:00~15:30
 場所 松本合同庁舎 講堂
 対象者 松本地区賛助会・長野県シニア大学生・松本地域の高齢者向け大学参加者など
 内容 ・シニア大学生のボランティア活動報告 ・シニアの生きがい就労について
 ・シニアの参加を求める団体との交流会

編集後記

芸術の秋・スポーツの秋となりました。

賛助会も生涯スポーツ交流大会・2019 信州ねりんピック・三世代文化交流大会等大きなイベントがありました。そんな中(重文)旧開智学校が9月正式に国宝に指定にされました。前回の「会報まつもと」でも紹介されました通り賛助会の活動グループの一つです。案内班の方々はもちろん私たち賛助会員にとっても誇りに思えます。

その反面、この度の台風19号は今迄の内最高に大きな台風で、あちこちに大被害をもたらしました。被災された方々には何とかこの地獄から抜け出してほしいと念じます。この頃の寒暖の差が激しいのも台風も皆地球温暖化のせいでしょうか。

お互い身体を大切にしてシニアらしく前進したいと思います。

(K・H)